

公開シンポジウム記録

東日本大震災の記録保存とその活用

— 311まるごとアーカイブスの目指すもの —

日時：2011年10月8日（土）13時～18時

会場：遠野市民センター（岩手県遠野市）

参加者：約150名

本資料は、2011年10月8日（土）午後に、岩手県遠野市で開催した公開シンポジウム「東日本大震災の記録保存とその活用—311まるごとアーカイブスの目指すもの」を要約したものです。

シンポジウムの趣旨

3月11日に発生した東日本大震災は、多くの人命を奪い、地域社会に壊滅的な被害を与えました。この経験や教訓を人類共通の資産として1000年先の後世にも伝承し、安全な社会を構築することが現世代の責任といえます。今回のシンポジウムでは、被災地の失われた「過去」の記憶をデジタルで再生し、被災した「現在」と復興に向けた「未来」の映像や資料をデジタルで記録し、まるごとアーカイブすることを目的とした「311まるごとアーカイブス」のデータ収集と保存の取り組みを紹介し、アーカイブされたデータの活用について議論します。

そのうえで、今回の震災体験を人類共通の資産として世界に発信することについて、アンドリュー・ゴードン、ハーバード大学ライシャワー日本研究所所長を交えて議論いたします。

プログラム

13時～13時10分 開会の挨拶

開催地代表 遠野市 本田敏秋市長

主催者代表「311まるごとアーカイブス」世話人 今村文彦(東北大学教授)

【第1部】アーカイブスの【データを集める】

「311まるごとアーカイブス」のデータ収集の取り組みについて、各サブプロジェクトやプロジェクトに賛同してデータ提供いただける団体等の担当者から、それぞれの取り組みの概要と現状の収集状況について具体的な報告を行う。

13時10分～13時20分

「311まるごとアーカイブス」活動の目的と概況 長坂俊成(独立行政法人防災科学技術研究所、「311まるごとアーカイブス」世話人)

13時20分～14時25分

データ収集の取り組みの紹介

- 1 KOMプロジェクト(KOM:気仙を大いに盛り上げたい!)
被災地の若者を中心とした画像、映像、インタビュー等のアーカイブ「思い出の品」返却
- 2 釜石市アーカイブス活動(アイアン・ハート)
釜石市の緊急雇用スタッフを中心としたアーカイブの取り組みについて
- 3 気仙沼「311まるごとアーカイブス」(株式会社ダイナックス都市環境研究所)
映像、画像のアーカイブと展示
- 4 災害体験のオーラル・ヒストリーの収集(NPO法人夢ネット大船渡)
後世に向けた被災体験のメッセージと避難行動の聞き取り
- 5 被災自治体の市民記録による災害映像の収集(防災科学技術研究所)
宮城県、岩手県の被災自治体と協働による災害時の動画と写真の収集
- 6 中学生、シニアを対象とした映像作成ワークショップを通じたコミュニティの復興アーカイブ
(NTTドコモ・モバイル社会研究所、東京工業大学)
- 7 遠野市等三陸地域地震災害後方支援活動のアーカイブ(遠野市)
行政文書と職員インタビューを中心とした災害対応記録と検証
- 8 被災地の写真映像記録ボランティアの活動(記録ボランティア)
- 9 災害FM放送のアーカイブ(おおふなとさいがいエフエム)

- 10 災害ボランティア活動と体験談のアーカイブ(宮城県ボランティアセンター)
- 11 地場産業の復興アーカイブと民間コマースサイトとの連携(中小企業家同友会気仙地区)
- 12 測量車両による360度映像と測定のアーカイブ(NTT空間情報)
- 13 復興情報杭とスマートフォン等による復興過程の定点撮影とフィールドミュージアム構想(リプロ・KDDI)

14時25分～14時35分 休憩

【第2部】アーカイブスの【データを活用する】

14時35分から16時5分

「311まるごとアーカイブス」のデータの活用について、自治体、大学、企業それぞれの立場から、科学的な災害現象や避難行動の検証、今後の防災・復興計画、防災教育等の視点から議論する。

「パネルディスカッション：データの収集・活用をめぐる課題とアイデア」

登壇者:大船渡市 今野洋二 教育長
陸前高田市 久保田崇 副市長
釜石市 野田武則 市長
遠野市 本田敏秋 市長
東北大学 今村文彦 教授

司 会:防災科学技術研究所 長坂俊成 主任研究員

16時5分～16時15分 休憩

【第3部】アーカイブスの【データを世界に発信する】

16時15分～17時50分

今回の震災体験を人類共通の資産として世界に発信することの意義と今後の課題について議論する。

「パネルディスカッション：震災体験を世界に発信」

登壇者:畑祥雄(関西学院大学教授)

今村文彦(東北大学大学院教授、「311まるごとアーカイブス」世話人)

吉見俊哉(東京大学教授、「311まるごとアーカイブス」世話人)

アンドリュー・ゴードン(ハーバード大学教授・ライシャワー日本研究所所長)

司会・コーディネーター:徳山喜雄(朝日新聞社)

閉会の挨拶 (防災科学技術研究所:長坂俊成氏)

17時50分～18時

共 催:サイエンス映像学会、独立行政法人防災科学技術研究所、「311まるごとアーカイブス」

後 援:学会連携プロジェクト